

令和6年度

袋井市森町広域行政組合会計
歳入歳出決算審査意見書

袋井市森町広域行政組合監査委員



袋広行組監第8号
令和7年8月20日

袋井市森町広域行政組合
管理者 袋井市長 大場 規之 様

袋井市森町広域行政組合
監査委員 久永 豊彦
監査委員 村井 勝彦

令和6年度 袋井市森町広域行政組合会計歳入歳出決算審査の意見について

地方自治法第233条第2項及び同法第241条第5項を準用する同法第292条の規定により、審査に付された令和6年度袋井市森町広域行政組合会計歳入歳出決算及び附属書類を審査したので、次のとおり意見書を提出する。

目 次

	ページ
1 審査の種類	4
2 審査の対象	4
3 審査の着眼点	4
4 審査の主な実施内容	4
5 審査の実施場所及び日程	4
6 審査の結果	4
7 決算の概要	5
(1) 歳 入	5
(2) 歳 出	6
8 実質収支に関する調書	6
9 財産に関する調書	7
10 基金運用状況調書	9
11 まとめ	9

(注)

文中及び各表中の金額等の記述は、次の要領による。

- 1 金額の単位未満の数値は原則として四捨五入した。このため、合計額又は差額が一致しない場合及び合計額又は差額を調整したことがある。
- 2 比率は、百分率で小数点以下第2位を四捨五入し、第1位までを表示した。
- 3 文中及び表中に用いた符合等の用法は次のとおりである。
 - 「0.0」・・・該当数字はあるが、表示単位未満を四捨五入した結果のもの
 - 「－」・・・該当数字のないもの、算出不能又は無意味なもの
 - 「△」・・・対比又は比較等がマイナスとなったもの
 - 「皆増」・・・前年度に数値がなく全額増加したもの
 - 「皆減」・・・本年度に数値がなく全額減少したもの

1 審査の種類

決算審査(地方自治法第292条)

2 審査の対象

令和6年度 袋井市森町広域行政組合会計歳入歳出決算

3 審査の着眼点

- (1) 決算書及び附属資料が、関係法令に基づいて作成されているか。
- (2) 決算書類に記載された計数等は正確であるか。
- (3) 予算の執行状況は適正であるか。

4 審査の主な実施内容

袋井市森町広域行政組合監査基準に準拠し、審査の着眼点に基づき、袋井市森町広域行政組合管理者から提出された令和6年度の決算書及び附属書類並びに帳票及び証拠書類とを照合点検するとともに、関係職員から説明を聴取し、審査を実施した。

5 審査の実施場所及び日程

- (1) 袋井市 監査室
- (2) 令和7年7月25日

6 審査の結果

審査に付された令和6年度の決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、各計数に誤りはなく、関係諸帳簿及び証拠書類といずれも符合し、適正であると認められた。

7 決算の概要

(1) 歳入

(単位:千円、%)

区分 款	令和5年度 収入済額 (A)	令和6年度					増減額 (D)-(A)	前年度対比 (D)/(A)
		予算現額 (B)	調定額 (C)	収入済額 (D)	執行率 (D)/(B)	構成比		
1 分担金及び 負担金	3,026,390	3,153,465	3,150,749	3,150,749	99.9	80.0	124,359	104.1
2 使用料及び 手数料	225,559	196,940	214,099	214,099	108.7	5.4	△ 11,460	94.9
3 国庫支出金	0	8,139	8,139	8,139	100.0	0.2	8,139	—
4 県支出金	18,355	25,533	25,410	25,410	99.5	0.6	7,055	138.4
5 財産収入	3	6	185	185	3,076.5	0.0	182	6,166.7
6 繰入金	44,377	74,686	74,580	74,580	99.9	1.9	30,203	168.1
7 繰越金	47,855	67,632	67,632	67,632	100.0	1.7	19,777	141.3
8 諸収入	18,175	12,299	14,077	14,077	114.5	0.4	△ 4,098	77.5
9 組合債	62,100	386,900	385,900	385,900	99.7	9.8	323,800	621.4
合計	3,442,814	3,925,600	3,940,771	3,940,771	100.4	100.0	497,957	114.5

歳入決算額は、予算現額3,925,600千円に対し、収入済額3,940,771千円であり、予算現額に対する収入済額の執行率は、100.4%(前年度100.1%)となっている。

収入済額を前年度と比較すると497,957千円(14.5%)の増加となり、構成比は、分担金及び負担金80.0%、組合債9.8%、使用料及び手数料5.4%の順となっている。

市町別分担金及び負担金調書

(単位:千円)

市町別	共通費分担金	衛生費分担金	消防費分担金	消防費負担金	合計
袋井市	32,826	1,335,039	1,170,557	18,201	2,556,623
森町	6,411	242,865	341,400	3,450	594,126
合計	39,237	1,577,904	1,511,957	21,651	3,150,749

(2) 歳 出

(単位:千円、%)

区分 款	令和5年度 支出済額 (A)	令和6年度						増減額 (C)-(A)	前年度対 比 (C)/(A)
		予算現額 (B)	支出済額 (C)	翌年度 繰越額 (D)	不用額 (E)	執行率 (C)/(B)	構成比		
1 議会費	433	461	442	0	19	95.8	0.0	9	102.1
2 総務費	37,844	43,712	42,995	0	717	98.4	1.1	5,151	113.6
3 衛生費	1,635,613	1,715,341	1,689,367	0	25,974	98.5	43.8	53,754	103.3
4 消防費	1,340,071	1,828,659	1,800,948	0	27,711	98.5	46.6	460,877	134.4
5 公債費	361,222	330,024	329,671	0	353	99.9	8.5	△ 31,551	91.3
6 予備費	0	7,403	0	0	7,403	0.0	0.0	0	—
合 計	3,375,182	3,925,600	3,863,423	0	62,177	98.4	100.0	488,242	114.5

歳出決算額は、予算現額3,925,600千円に対し、支出済額3,863,423千円、不用額62,177千円で、予算現額に対する支出済額の執行率は、98.4%(前年度98.1%)となっている。

支出済額を前年度と比較すると488,241千円(14.5%)の増加となり、構成比は、消防費46.6%、衛生費43.8%、公債費8.5%の順となっている。

8 実質収支に関する調書

令和6年度決算においては、歳入総額3,940,771千円、歳出総額3,863,423千円、歳入歳出差引額は77,348千円が実質収支となっている。

9 財産に関する調書

(1) 公有財産

ア 土地及び建物

(単位:㎡)

区 分	土地(地積)			建物(非木造延面積)		
	前年度末 現在高	決算年度 中増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度 中増減高	決算年度末 現在高
火 葬 施 設	36,140.56	0.00	36,140.56	1,448.18	0.00	1,448.18
ごみ処理施設	74,386.33	0.00	74,386.33	7,796.88	0.00	7,796.88
下流水路管理道路	980.94	0.00	980.94	—	—	—
し尿処理施設	31,282.45	0.00	31,282.45	4,852.49	0.00	4,852.49
搬 入 路	2.81	0.00	2.81	—	—	—
袋井消防庁舎	4,098.21	0.00	4,098.21	4,099.74	0.00	4,099.74
消防庁舎駐輪場	—	—	—	9.52	0.00	9.52
車庫備蓄倉庫棟	—	—	—	167.79	0.00	167.79
総合訓練塔	—	—	—	324.00	0.00	324.00
消防訓練塔	—	—	—	192.00	0.00	192.00
袋井消防署浅羽分署	—	—	—	734.52	0.00	734.52
袋井消防署山梨分遣所	—	—	—	509.25	0.00	509.25
袋井消防署森分署	—	—	—	952.34	0.00	952.34
合 計	146,891.30	0.00	146,891.30	21,086.71	0.00	21,086.71

イ 工作物

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
ごみ処理施設調整池下流水路柵渠及び管理道路	1,265.00 ㎡	0.00 ㎡	1,265.00 ㎡
合 計	1,265.00 ㎡	0.00 ㎡	1,265.00 ㎡

(2) 物 品

ア 事務局

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
軽四自動車	1 台	0 台	1 台

イ 施設

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
軽トラック	1 台	0 台	1 台
ダンプカー	1 台	0 台	1 台
普通自動車	1 台	0 台	1 台
軽四自動車	1 台	0 台	1 台
フォークリフト	2 台	0 台	2 台
ホイールローダー	1 台	0 台	1 台

ウ 消 防

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
救 急 車	6 台	0 台	6 台
指 令 車	1 台	0 台	1 台
連 絡 車	3 台	0 台	3 台
査 察 車	1 台	0 台	1 台
広 報 車	1 台	0 台	1 台
指 揮 車	1 台	0 台	1 台
指 揮 支 援 車	1 台	0 台	1 台
支 援 車(マイクロバス)	1 台	0 台	1 台
消 防 ポ ン プ 車	3 台	0 台	3 台
救 助 工 作 車	1 台	0 台	1 台
水 槽 付 消 防 ポ ン プ 車	4 台	0 台	4 台
化 学 消 防 自 動 車	1 台	0 台	1 台
小 型 は し ご 付 消 防 ポ ン プ 車	1 台	0 台	1 台
資 機 材 搬 送 車	1 台	0 台	1 台
事 務 連 絡 車	1 台	0 台	1 台
救 命 ボ ー ト	4 艘	0 艘	4 艘
可 搬 ポ ン プ	4 台	0 台	4 台

(3) 債 権 無 し

(4) 基 金

(単位:千円)

区 分	前年度末 現在額	決算年度中 増減額	決算年度末 現在額
財 政 調 整 基 金	248,705	△ 33,845	214,860
消 防 職 員 退 職 手 当 基 金	92,915	10,050	102,965
合 計	341,620	△ 23,795	317,825

10 基金運用状況調書

(単位:千円)

区 分	前年度末 現在額	決算年度中増減額		決算年度 末現在額	備 考	
		受入	払出			
財 政 調 整 基 金	248,705	40,735	74,580	214,861	新規積立額	40,600
					利子積立額	135
					基金取崩額	74,580
消 防 職 員 退 職 手 当 基 金	92,915	10,050	0	102,965	新規積立額	10,000
					利子積立額	50
					基金取崩額	0
合 計	341,620	50,785	74,580	317,826	新規積立額	50,600
					利子積立額	185
					基金取崩額	74,580

11 まとめ

組合が有する衛生施設では、火葬施設の中遠聖苑は供用開始から42年、ごみ処理施設の中遠クリーンセンターは17年、し尿処理施設の衛生センター第1プラントは38年経過している。

それぞれの施設の将来構想や長寿命化については、新火葬場候補地選定や基幹的設備改良工事など積極的に進めている。将来的に安全で安定した施設運営が図られるよう努められたい。

また、収入確保の取組についても、資源ごみ売却にあたり、入札により事業者を決定することで、収入増に繋がっている。将来の多額な財政負担を考慮し、あらかじめ財源を確保する方策を検討されたい。財政が厳しい中、更なる収入増、支出減に向けた取組を考えられたい。

中遠聖苑については、計画的に行っている火葬炉耐火レンガ積替は、2号炉、3号炉で行い、施設の維持管理として火葬棟換気設備等の修繕を行った。また、新火葬場建設に向けて、「新火葬場候補地選定委員会・幹事会」を開催し、候補地選定方法などを協議し、新火葬場候補地を3か所に絞り込んだ。早期に候補地を決定することで、建設費や地元対策費等も踏まえ、財政見通しを明らかにされたい。

中遠クリーンセンターについては、設備診断を基に、施設の延命と財政支出の削減を図るため長寿命化計画を策定し、基幹的設備改良工事を適切に発注するための発注仕様書を作成した。今後も施設の安全で安定した運転管理に努めていただきたい。

衛生センターについては、計画的に更新を図っている。将来の搬入量を想定し、衛生センターの適正な規模を把握し、明確なビジョンを作成されたい。

消防業務については、平成24年4月から中東遠地域5消防本部で共同運用している中東遠消防指令センターが13年経過したため、機器の更新を行い、さらなる指令の高度化、現場活動の迅速化に繋がるシステムに更新された。

また、公共施設等総合管理計画に基づき、浅羽分署非常用発電設備更新工事を行い、72時間連続運転可能な機器へ更新し、災害拠点としての機能強化を図った。

南海トラフ巨大地震に備え、今後も地域住民の安心・安全のため、より一層の業務の推進と消防隊員の資質及び技術の向上に努められるとともに、災害時の応援活動も含有しながら、業務に必要な備品・資機材を確実に整備されたい。